研究名：メタ解析手法を用いた、日本人妊婦の妊娠前体格・体重増加量別の栄養摂取量中央値の算出

１．研究の目的

妊娠中の栄養摂取を含む食生活は、母児の健康に大きく影響を与えるため、適切な食生活を送れるよう保健指導・栄養指導が行える体制の推進が重要です。しかし、妊娠中の適切な食・栄養に関する情報が不足しています。特に、「妊産婦のための食生活指針」において示されている体重増加の管理の目安は妊娠前体格別に設定されており、妊娠前にやせている女性ほど体重増加量が多くなることが推奨されているにも関わらず、エネルギー・各種栄養素の付加量の設定根拠となりうる体格別の妊娠期別の栄養摂取実態を把握できるデータが不足しています。

２．研究の方法

① 研究対象：2000 年 1 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までに妊娠中に国内の食事記録調査に協力された方
② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年 3 月 31 日
③ 研究方法：妊婦さんを対象に過去に収集された食事記録データを利用した二次解析を、国立成育医療研究センターとの共同研究として行います。

３．研究に用いる情報の種類

本研究に用いるのは、年齢、妊娠前の身長・体重、調査時妊娠週数、調査時の体重増加量、分娩週数、児の出生体重、妊娠中の総体重増加量、および食事記録データです。妊婦さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

４．情報の公表

集計・分析結果は、厚労科研データベースに登録するほか、学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

５．研究実施機関

国立成育医療研究センター、東京農業大学、浜松医科大学医学部付属病院周産母子センター、東京医科歯科大学、日本女子大学、千葉県立保健医療大学、新潟大学、東北大学

６．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024 年 7 月 30 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〇研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「低出生体重児の増加と妊娠中の栄養状態の関連についての研究」に参加された方
浜松医科大学**小児科学講座**
特命研究教授　伊東宏晃（担当者：**産婦人科学講座**　幸村由紀子）
〒431-3192　静岡県浜松市**中央**区半田山一丁目 20 番 1 号
Email: ykma2738@gmail.com

「エアロビックダンスを含む運動と食事が妊娠中ならびに出産後女性の心身の健康状態に及ぼす影響についての検討」 に参加された方
千葉県立保健医療大学 健康科学部 栄養学科
教授　 谷内洋子
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 2 丁目 10-1
Email: yoko.yachi@cpuhs.ac.jp

「妊婦を対象とした食物摂取頻度調査票の妥当性の検証」に参加された方
東北大学東北メディカル・メガバンク機構　食事調査係（三世代コホート担当）
電話　022-274-6091（午前 9 時～午後 5 時）

〇本研究に関する照会先

研究**代表**者：
国立成育医療研究センター　社会医学研究部　森崎菜穂

研究責任者：
浜松医科大学産婦人科学講座 小谷友美